

「やまびこ句会」に参加して

中山正光（前歩、11組）

関東同窓会の俳句同好会「やまびこ句会」に入会して俳句を楽しんでいます。

毎月、第2金曜日に文京シビックセンターに10名ほどの仲間が集まって句会を開いています。

その時に披露された句は関東同窓会のHPに掲載されていますので、興味のある方はHPを覗いてみてください。



<https://uedakant.sakura.ne.jp/pdf/haiku2601.pdf>

1月9日の「やまびこ句会」の当番は私（俳号は前歩）でしたので、句と短文と一緒にHPに投稿しました。

以下転載します。

「やまびこ句会」は昨年まで「雑詠」で、特に題は決めず、各人が自由な題材で創句して発表していました。

もちろん、季語は各人の詠んだ時期のものを使うのが原則で、いわゆる「当季」俳句です。今年（令和8年）1月から、「兼題」（句会の前に知らされる題を使って創句する）を始めました。これは「席題」（句会の席上で先生から出される題を即興で創句する）ではないので、各人、事前にその「兼題」で創句して推敲が可能です。

今月の「兼題」は児玉一江先生（62期）の発案で『鞆』でしたので、参加者は以下の句を発表しました。

初買は妻の鞆と旅の本

年玉は鞆三つを孫達に

初旅や使ひ慣れたる鞆持ち

冬の旅亡父残せし革鞆

ランドセル色褪せずして去年今年

初夢は空飛ぶ鞆に乗りし旅

「センセイの鞆」で新年読書会

青いショルダー傘寿祝いのお年玉

なお、来月の「兼題」はいろいろな意見が出されました。『時計』に決まりました。次回も楽しみです。

（2026年1月19日記）

以上